

令和4年度における広島市の文化財保護に係る主な取組について

1 史跡中小田古墳群整備

国の史跡に指定されている中小田古墳群の保存活用のための整備工事に向け実施設計等を行う。(予算額：1,911万7千円)

(スケジュール)

～30年度 調査・検討

元～3年度 保存活用計画・整備基本計画策定、基本設計

4年度 実施設計

5年度以降 整備工事

2 埋蔵文化財の保存活用施設の整備

発掘調査で出土した文化財の保存スペースを確保するとともに、市民に歴史や文化を体験する機会を提供するため、文化財の保存活用施設を整備する。(予算額：1億4,371万円)

場所 西区福島町二丁目(市営住宅福島第26アパート1・2階部分、旧保育園園庭)

(スケジュール)

3年度 実施設計(1、2階部分改修)

4年度 実施設計(整理作業所新築)、耐震改修工事、整備工事

5年度 耐震改修工事、整備工事

3 旧日本銀行広島支店の保存

国の重要文化財の指定に向けて、文化財的価値を高めるための復原工事を実施する。

(予算額：3億1,010万4千円)

4 原爆ドームの特別史跡指定等に向けた取組

被爆の実相を国内外に普及・継承していくため、原爆ドームの特別史跡指定に向け、国との協議に必要な総括報告書を作成するとともに、平和記念公園レストハウスや旧日本銀行広島支店など広島原爆遺跡の国史跡指定に向けた取組を進める。(予算額：380万円)

5 史跡広島城跡石垣調査の実施

史跡広島城跡を構成する最も重要な要素であり、将来にわたって保全を図る必要がある石垣の健全性や木造復元による影響を考察するため、小天守があったとされる天守台東側及び南側を中心に調査を実施する。(予算額：2,110万円)

6 市指定重要有形文化財東照宮本地堂の保存

建物全体に傷みがみられ、大地震の場合には倒壊するおそれがある東照宮本地堂について、保存修理工事を実施(令和3年度～5年度)する所有者に対し、工事費の一部を補助する。

(予算額：4,875万円)

7 市指定史跡長尾古墳群防災工事の実施

平成30年7月の豪雨により崩落が生じたことから、更なる崩落を防ぎ、周辺住民の安全を確保するため、法面の防災工事を実施する。(予算額：2,300万円)